

4つのゾーンが環境整備の基本です。

黒部川流域は、人の立ち入りを拒むような急峻な地形によって
原生的な樹林地、自然環境が広く残されており、貴重な動植物も数多く生息しています。

また、豊かな自然・豪壮な峡谷景観を求めて多くの観光客が訪れています。

その一方で、過去に幾度となく甚大な土砂災害に見舞われている地域でもあり、
安全な生活空間の確保が求められていました。

このため、この流域で砂防事業を展開してきたところですが、
この度、事業を進めるにあたり、
流域内の環境特性を検討し、「環境ゾーン」を設定して、
それぞれの特性にあった砂防施設の整備を進めることにしました。

A ゾーン(下廊下・十字峡)

後世に残そう！
黒部川の大自然

自然林と貴重な動植物の生息環境や北アルプスの大自然が
織りなすすばらしい景観をありのままの姿で保全します。

C ゾーン(小黒部・黒蘆・祖母谷)

黒部の自然とふれあおう！

自然度の高い豊かな森と貴重な動植物の生息環境を理解し、
生態系を破壊しないように十分な注意を払いながら、
荒廃の激しい流域の整備に努めます。

B ゾーン(サンナビキ・嘉ヶ堂谷)

車窓に広がる黒部の峡谷美を
いつまでも

緑深き豊かな自然環境を保全し、トロッコ電車から望む黒
部峡谷の峡谷美に配慮した整備を目指します。

D ゾーン(宇奈月温泉周辺)

守ろう！自然と人の共存する
やすらぎの里宇奈月

古くから人々の生活と自然が共存してきた地域の流域の
自然・景観を維持しつつ、土砂災害から地域の拠点・観光
の基盤を保全します。また、河川利用を積極的に促し、
親水性に配慮した溪流づくりをすすめます。

